

令和4年10月8日

熊本市長 大西 一史様

住所 熊本市北区

団体名 NPO 法人ディスカバリーくまもと

代表者 職名 理事長 氏名 田嶋 尚美



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

令和4年(2022年)4月26日付け指令(地活)第8号により、熊本市市民公益活動支援助成金の交付決定※を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第21条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

熊本市市民公益活動支援基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業
熊本の誇る水前寺成趣園の細川文化と肥後六花を英語でガイドするための子ども講座

2 助成事業の実施期間

令和4年4月1日 ～ 令和4年9月30日

3 助成事業の内容

次世代観光人材育成として、築庭350年を経て、大名庭園の姿をそのまま残す熊本の誇る水前寺成趣園の細川文化と肥後六花について、小・中学生及び保護者を対象に「子ども英語でボランティアガイド養成講座」を6回実施する。特に、保護者も参加することにより、水前寺成趣園出水神社や水前寺活性化プロジェクトチーム、さらに、武田流流鏑馬保存会・金春流能楽 金春松融会・茶道肥後古流白水会、肥後六花各保存会との連携を深める中から、細川文化と肥後六花の魅力を再発見し、自主的に発信できるようにサポートする。

4 事業の成果

今回、各団体の協力を得て、開講式での講話や武田流流鏑馬、金春流能楽、茶道肥後古流の体験型ワークショップを実施したことにより、細川文化の魅力を体感することや肥後六花の魅力を再認識し、英語でのガイドに生かすことができた。

2回目より、感染状況激化により、オンライン講座(ZOOM)を実施したことで、発音指導やガイド指導について、家族単位での個別指導に、グループでの指導にと安全に効率的に実施することができた。

4ヶ所を繋いだオンラインでのリハーサルや発表会では、2名の外国人講師のアドバイスを得ながら、全員の発表を確かめ合うことができ、受講生にとって大きな成果となった。今後、実際に現地でのガイド実践ができなかったため、現地でのフォローアップを随時行っていく予定である。

5 助成事業の実施状況

- (1) 事業収支決算書(様式第16号)
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類等
- (3) その他参考となる資料

事業収支決算書

◆収入決算

項 目	金 額	内 訳
会費	80,000	2,000 円×40 名
当該事業による収益	0	
当該事業に対する寄附・協賛金	0	
その他の自己資金	6,294	
当該事業に対する助成申請額	145,733	
その他の補助金、助成金等【D】	0	
合 計	232,027	

◆支出決算(事業別)

事業名 支出費目		事業1	事業2	事業3	合計
		熊本の誇る水前寺成趣園の細川文化と肥後六花を英語でガイドするための子ども講座			
助成対象経費	人件費	99,000			99,000
	報償費	30,440			30,440
	旅費	0			0
	人件費等合計【A】	129,440			129,440
	役務費	21,046			21,046
	使用料・賃借料	17,500			17,500
	事務・消耗品費	15,891			15,891
	委託費	48,150			48,150
	合計	232,027			232,027
助成対象外経費					
	合計(助成対象外経費)				0
		総事業費			232,027

【☆】

助成申請上限額(助成種別:ステップアップ 助成)

ただし、当初助成決定金額は超えられない

〔助成対象経費【☆】232,027- 控除額【E】13,427〕×2/3=145,733 ため、変更申請上限額は、16,000 円

※控除額…超過人件費(人件費等の合計が事業費の1/2を超えた部分)とその他助成金の合計

人件費等の合計【A】	129,440	→	超過人件費【C】※	13,427
事業費の1/2【B】	116,013		その他助成金【D】	0
超過人件費【A-B】…【C】	13,427		控除額【E】	13,427

※マイナスの場合は0円

◆支出内訳（事業別）

事業1〔熊本の誇る水前寺成趣園の細川文化と肥後六花を英語でガイドするための子ども講座〕

人件費	スタッフ人件費 1 ルビ付き英語・日本語テキスト作成 @1,000 円×12 人 2 ガイド講座講師料 @1,000 円×(8 人×6 回+39 人)
報償費	講師謝礼 外国人講師 @10,000 円×2 人 振込手数料 @220 円×2 回 茶道肥後古流 講師料 @10,000 円×1 回
旅費	なし
役務費	テキスト・書類郵送切手代 @210 円×16 通+2,286 円 武田流流鏑馬体験活動に関わる木馬などの馬具・武具運送費 @15,400 円×1 回
使用料・賃借料	水前寺成趣園出水神社二階広間施設使用料 @1,000 円×1 回 茶室酔月亭使用料 @1,500 円 能楽殿能舞台使用料 @8,000 円 天理教熊本教務支庁施設使用料 @2,000 円+@1,000 円×5 回
事務・消耗品費	修了証書用紙代 @770 円×5 部 プリンターインク代 @4,864 円(フルカラーカートリッジ1 個) 茶道体験和菓子6 個 @1,987 円 事務用消耗品等・封筒他 @5,190 円
委託費	募集用チラシ印刷 @30,250 円 講座用サブテキスト印刷 @2,600 円 開講式講座説明チラシ印刷 @5,000 円 ルビ付き英語・日本語テキスト75 部印刷 @10,300 円

事業2〔 〕

人件費	
報償費	
旅費	
役務費	
使用料・賃借料	
事務・消耗品費	
委託費	

事業報告書

実施年度	令和4年度
事業名	熊本市市民公益活動支援基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業 熊本の誇る水前寺成趣園の細川文化と肥後六花を英語でガイドするための 子ども講座
事業期間	令和4年4月1日～令和4年9月30日
事業の目的	次世代観光人材育成講座として、築庭350年を経て、大名庭園の姿をそのまま残す 熊本の誇る水前寺成趣園の細川文化と肥後六花について、小・中学生や保護者を対象 とし、外国からのゲストやツーリストに英語でガイドできるように指導することによ り、熊本の地域の活性化に主体的に貢献するとともに、熊本の観光復興や細川文化と 肥後六花の継承に貢献することを目的とする。
具体的な 事業内容	次世代観光人材育成として、熊本の誇る水前寺成趣園の細川文化と肥後六花につい て、小・中学生及び保護者を対象に「子ども英語でボランティアガイド養成講座」を 6回実施した。特に、保護者も参加することにより、水前寺成趣園出水神社や水前寺 活性化プロジェクトチームとの連携を深める中から、細川文化と肥後六花の魅力を 再発見し、自主的に発信できるようにサポートした。 1 事業のための実施計画案・ルビ付き英語・日本語サブテキスト作成 イ 4月に講座担当者による実施計画案作成 ロ 5・6月に現地インタビューによるルビ付き英語・日本語サブテキスト作成 2 講座対象の小・中学生保護者の募集 イ 砂取小・出水小学校学校訪問 チラシ作成・配布300枚×2校 ロ 水前寺成趣園出水神社・水前寺活性化プロジェクトチーム等へのチラシ配布 ハ 熊本日日新聞への新聞広告依頼（無料掲載） 3 講座開催（7月・8月）6回 イ 開講式後に、武田流流鏑馬、金春流能楽、茶道肥後古流の体験活動 ロ 講師 12名・外部講師 2名・講座施設利用 6回 ハ 新型コロナウイルス感染症拡大の状況によりオンライン講座を併用 4 講座使用のテキスト他 イ 各グループ講座用英語・日本語テキスト（各グループ10頁×60部） ロ 全コース英語・日本語テキスト（30頁×60部） ハ 講座終了後、英語での修了証書授与（40部）
実施場所	水前寺成趣園・天理教熊本教務支庁
協力団体	協力：水前寺成趣園出水神社・水前寺活性化プロジェクトチーム
事業の効果 ・公益性	当事業を通して、築庭350年を経過した大名庭園水前寺成趣園の細川文化と肥後六 花の魅力を再確認し、発信することにより、地域との連携を深め、熊本市の観光復興に 貢献できるだけでなく、細川文化と肥後六花の継承活動へとつなぐことができた。
次年度以降の 事業展望	開講式に、武田流流鏑馬、金春流能楽、茶道肥後古流の体験型ワークショップを通し て、細川文化の魅力を体感することや肥後六花の魅力を再認識することから、水前寺 成趣園で開催予定のイベントにおいて英語でガイドできるよう企画する。当会では、 2016年より水前寺成趣園での常駐ガイドを行っていることより、受講者について、英 語だけでなく、日本語ガイドについても定期的にフォローアップが可能である。
事業への想い (当事業によっ てどのような熊本市 にしていきたいか)	熊本市にとって、熊本の誇る大名庭園水前寺成趣園の魅力だけでなく、築庭350年 を経て継承される細川文化として、武田流流鏑馬、金春流能楽、茶道肥後古流と肥後六 花の魅力を再確認し、地域との連携を深めながら、次世代の小・中学生や保護者が英語 でガイドした当事業は、熊本市の観光復興に貢献するだけでなく、細川文化と肥後六 花の継承にも貢献できると考える。